

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーションⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
	(Global CommunivcationⅡ)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		曜日・時限	月曜日 5時限、水曜日 1限目	

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員実務経験:英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話することができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話することができる。ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話することができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントについて話することができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。店内で欲しいものについて述べることができる。新しい商品の説明を読む、またVlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	所有形容詞を学ぶ。知人・家族について話す
2回目	話の切り出し方を学ぶ会話始める表現を学ぶ。驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ
3回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「人と共通していることについて話す」
4回目	名詞の代わりに[this, that, these, those]の使い方を学ぶ。職場について話す
5回目	ポッドキャストについての意見を読む、書く
6回目	「現在進行形」を学ぶ・復習する。今していることについて話す
7回目	情報を得るため、必要な表現を学ぶ。知らない情報をチェックする
8回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「フィットネスプログラムを作る、発表する」
9回目	「目的語」の使い方を学ぶ。贈り物について話す
10回目	イベントへの招待を読む、書く
11回目	人生の中での過去のイベントについて話す。自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝える
12回目	お祝いの言葉を学ぶ。人の気持ちを推察する表現を学ぶ。自分の認識が正しいかどうかを確認する
13回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「過去の有名な出来事をまとめる」
14回目	「限定詞」を学ぶ。買い物習慣について話す
15回目	新しい商品の説明を読む、Vlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書く
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	・小テストの正解率にて評価 (前期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)
EVOLVE2	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
	(Global Communication II)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	月曜日 5時限、水曜日 1限目
【授業の学習内容】							
リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。							
※担当教員実務経験：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。							
【到達目標】							
レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べることができる。広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフイーについての短いコメントを書くことができる。天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	「数量詞」を学ぶ。一番好きな食べ物について話す
2回目	レストランで頼みたいものについて説明する。「I mean」を使い、会話を練習する
3回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティを計画し、発表する」
4回目	[to / for]を使って、理由を説明する。過去に行った旅行について話す
5回目	海外生活についてのアドバイスを読む、書く
6回目	「形容詞の比較級」を学ぶ。お店とお店での売り物を比較する
7回目	[I guess]を使い、意見を尋ねる、または述べる
8回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「広告を作り、発表する」
9回目	将来の予想を立てる表現を学ぶ。健康問題について話す
10回目	未来の自分へのメールを書く
11回目	「現在完了形」を学ぶしたことがあること、ないことについて話す
12回目	人に頼む際に使う表現を学ぶ。頼まれた際に使う表現を学ぶ
13回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「ビデオ、またVlogを作る」
14回目	「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ。場所、人、物事を説明する
15回目	場所についての説明を読む、方法についての説明リストを書く
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	・小テストの正解率にて評価 (後期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)
【使用教科書・教材・参考書】	
EVOLVE2	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ (Career Planning II)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩 辰則
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 2時限
【授業の学習内容】 キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。 進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。 各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること(チームワーク)を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。							
【到達目標】 卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。 チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことができる。 社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。 自己実現のための目標設定をし実践できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	前期オリエンテーション:4年間の流れと後期スケジュール確認。目標設定と実践プランの作成
2回目	1週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施
3回目	2週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施、GWの過ごし方について
4回目	GWの振り返り、生活習慣について
5回目	学園祭について(積極性・チームワークなど協働、ホスピタリティを学ぶ)、中間試験について(単位、GPA、奨学金)
6回目	学園祭について(積極性・チームワークなど協働、ホスピタリティを学ぶ)
7回目	学園祭準備
8回目	中間試験の振り返り、学園祭準備
9回目	学園祭の振り返りとまとめ、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	業界研修について
11回目	業界研修について
12回目	期末試験・補講・追再試について(試験規定、進級に向けての必要単位数など便覧記載内容の確認と理解)、夏休みの過ごし方について
13回目	夏休みの振り返り、海外プログラムについて
14回目	海外プログラムについて
15回目	期末試験の振り返り、前期の振り返り、後期授業について理解する
準備学習 時間外学習	・特別講義に参加 ・事前課題に取り組み、各種レポートを提出すること
評価方法	・クラス(集団)への参加度や理解度:80% ・事前課題などの各種レポートの提出と記入内容:20%
【使用教科書・教材・参考書】 Hand-book of Life style オリジナル資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ (Career Planning Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩 辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 2時限
【授業の学習内容】							
キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。 進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。 各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること(チームワーク)を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。							
【到達目標】							
卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。 チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことができる。 社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。 自己実現のための目標設定をし実践できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	後期オリエンテーション:後期スケジュール確認と目標設定と実践プランの作成
2回目	1週目を終えて授業の確認・授業の受け方(準備・ノートのとり方)・号令や掃除の仕方の確認と実施
3回目	2週目の振り返り(課題:自己分析・将来の方向性・企業リサーチなど)
4回目	進級課題制作: テーマ設定、チーム決め、内容決め
5回目	進級課題制作: テーマ決定、制作、中間試験について
6回目	進級課題制作: 制作
7回目	進級課題制作: 制作
8回目	中間試験の振り返り、進級課題制作: 制作
9回目	進級課題制作: 制作、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	進級課題発表: 前半グループ
11回目	進級課題発表: 後半グループ
12回目	イベント運営: We are ECO 進級制作展準備、期末試験・補講・追再試について、冬休みの過ごし方について
13回目	イベント運営: We are ECO 進級制作展準備
14回目	イベント運営: We are ECO 進級制作展準備
15回目	期末試験の振り返り、後期の振り返り、次年度カリキュラムについて理解する、イベント運営: We are ECO 進級制作展準備
準備学習 時間外学習	・特別講義に参加 ・事前課題に取り組み、各種レポートを提出すること
評価方法	・クラス(集団)への参加度や理解度:80% ・事前課題などの各種レポートの提出と記入内容:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
Hand-book of Life style オリジナル資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
	(Hospitality Ⅱ)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 3時限
【授業の学習内容】 ホスピタリティ・マインドとは、「おもてなしの心」とも訳され、ビジネスに携わる上で不可欠なものです。相手に満足してもらうサービスを提供する為に、「相手の立場になって考え行動できる力」を身につけ実践出来るように講義形式・実践形式にて理解を深めます。 ※担当教員実務経験:専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。							
【到達目標】 ①ホスピタリティの理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション : 講義の説明 ホスピタリティ動画を視聴し、サービスとホスピタリティの違いについて理解することができる
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ基本マナーを身につける(挨拶・お辞儀)
3回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(服装・身だしなみの重要性)
4回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(言葉遣い・声の出し方)
5回目	電話対応の基本マナーとビジネス上の定番トークを覚え、信頼を得る電話対応ができる
6回目	電話対応 ロールプレイング
7回目	おもてなしにあたってのマナーについて理解し、現場で実践することができる
8回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(コミュニケーションが始まる挨拶・笑顔)
9回目	適当な挨拶のデメリットとマナーにかなった挨拶のメリットについて理解を深めることができる
10回目	マインド(心構えや気持ち)、知識、行動など振り返り、再確認することができる。
11回目	リッツ・カールトンのホスピタリティについて調べ、感動を与えるサービスについて理解することができる
12回目	自分が体験した感動サービスについて取り上げ、感性を磨くことができる
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り
準備学習 時間外学習	事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。 時間外学習では、ホスピタリティを身につけるために行動すること。相手に対してちょっとした気遣いの積み重ねです。まずは考え行動しましょう。
評価方法	・試験:80% ・平常点:20%
【使用教科書・教材・参考書】 【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティⅡ (Hospitality Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 3時限
【授業の学習内容】							
前期講義で習得したものをさらにワンランク上の知識やスキルを身につけ、ホスピタリティを拠り所としたよりきめ細かく幅広い実務と教養を学びます。							
※担当教員実務経験：専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。							
【到達目標】							
①前期講義で習得したもののから更にワンランク上の知識やスキルを身につけることができる。							
②実社会におけるホスピタリティ・マインドの重要性を認識し、社会人として通用する心構えを構築することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明 前期講義の振り返り
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ「気くばり」について理解することができる
3回目	「気くばり」に必要な具体的な手法を知り、顧客満足度を上げることができる
4回目	ワンステップ上の挨拶の実践によりパーソナル・サービスに生かすことができる
5回目	気くばりのあるコミュニケーション(対応力、傾聴力、褒め上手)でお客様のご要望がわかる
6回目	リピーター、ロイヤルカスタマーを生む対応力について理解することができる
7回目	「心くばり」に必要な手法を知り、お客様や周囲の状況を把握し必要に応じたコミュニケーションを図ることができる
8回目	お客様とのやり取りの中で、ニーズの先読みをし、最適な準備や柔軟な対応をすることができる
9回目	お客様からの要望やクレームに対し、お客様の心理に寄り添ったコミュニケーションを図ることができる
10回目	お客様により良いサービスを提供するために組織のホスピタリティについて理解することができる
11回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【グループワーク】
12回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【発表】
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り
準備学習 時間外学習	事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。 時間外学習では、講義を理解するために講義内容を見直しあいまいな点は質問できるように整理すること。 また、新たな気づきなどをノートにまとめておくこと。
評価方法	・試験:80% ・平常点:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アグリテックⅡ (AgritechⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	(株)マイファーム 工藤雄太・八兒美恵子
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 2・3時限
【授業の学習内容】 屋上ビオトープの管理とビオトープ管理士試験についての内容を学ぶ。ビオトープ管理士の内容から環境関連法について幅広く環境に対する知識を習得する。また、実習では校舎のある福岡市博多区の環境を調べ、生き物が飛来することのできる環境づくりを目指す。 ※担当教員実務経験：(工藤雄太)屋久島でのエコツアー、環境教育事業に携わる。「北九州・魚部」を法人化し、水生生物の生息調査、環境教育活動、事業立案およびマネージメント、出版、コンセプトカフェ経営や、稲作と生物多様性保全を両立するプロジェクトなど多岐にわたる業務に従事。(八兒美恵子)福岡県飯塚市にて有機農産物を生産。アイガモ農法などの経験有。(株)マイファームの技術講師として、有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。福岡県ビオトープ管理士会所属。							
【到達目標】 ビオトープネットワークの考え方から屋上菜園や自宅周辺の自然環境について深く考え、人間と共生できる環境づくりを自身の考えを踏まえて想定することが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【屋上演習】春野菜の収穫・とう立ち・種取りについて 【座学】オリエンテーション:ビオトープ論①ビオトープの定義・現状
2回目	【屋上演習】夏野菜の定植・支柱の仕立て方について 【座学】ビオトープ論②
3回目	【屋上演習】イネの育苗:種の選別と浸水作業について 【座学】ビオトープ論③
4回目	【屋上演習】ウリ科野菜の播種・コンパニオンプランツの利用について 【座学】環境関連法①
5回目	【屋上演習】イネ科作物について 【座学】環境関連法②
6回目	【6月19日】粕屋町にて田植え
7回目	【屋上演習】ムギの収穫 【座学】中間テスト
8回目	【6月22日】舞鶴公園:みどりのまちマルシェ参加
9回目	【屋上演習】屋上ビオトープ:ミニ田んぼの手入れ・夏の野菜管理 【座学】環境関連法③
10回目	【屋上演習】マルシェ振り返り 【座学】環境関連法まとめ
11回目	【屋上演習】秋冬に向けての作付け計画作成 【座学】計画部門①
12回目	【屋上演習】太陽熱消毒について 【座学】計画部門②
13回目	【屋上演習】蜜源植物について 【座学】ビオトープ論・環境関連法・計画部門まとめ
14回目	【屋上演習】秋冬野菜の播種・土づくり 【座学】期末テスト
15回目	【屋上演習】後期マルシェに向けての目標作成 【座学】テスト振り返り
準備学習 時間外学習	ビオトープ試験の過去問題演習を行う。または、それに準ずる試験などの課題に取り組む。
評価方法	・筆記試験:60% ・授業態度:40%
【使用教科書・教材・参考書】 「ビオトープ管理士資格試験 公式テキスト」公益財団法人日本生態系協会監修。授業スライドも印刷して配布	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アグリテックⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	(株)マイファーム 工藤雄太・八兒美恵子
	(AgritechⅡ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 2・3時限
【授業の学習内容】 ビオトープの施工について理解し、ビオトープ管理士試験に臨めるよう対策を行う。また、農業の流通や商品開発について自ら考え企画を行い、11月のみどりのまちマルシェの運営が出来るように準備を行っていく。 ※担当教員実務経験:(工藤雄太)屋久島でのエコツアー、環境教育事業に携わる。「北九州・魚部」を法人化し、水生生物の生息調査、環境教育活動、事業立案およびマネージメント、出版、コンセプトカフェ経営や、稲作と生物多様性保全を両立するプロジェクトなど多岐にわたる業務に従事。(八兒美恵子)福岡県飯塚市にて有機農産物を生産。アイガモ農法などの経験有。㈱マイファームの技術講師として、有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。福岡県ビオトープ管理士会所属。							
【到達目標】 ビオトープ管理士試験に挑戦する。 マルシェでは、野菜の収穫、調整から、開店準備、呼び込み、会計までの一連の流れを理解し、自らマルシェ運営が出来るようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	【座学】施工部門① 【屋上演習】マルシェ振り返り・今後の目標・計画作成
2回目	【座学】施工部門② 【屋上演習】屋上ビオトープの動植物の移り変わりについて
3回目	【座学】施工部門③ 【屋上演習】屋上ビオトープの施工について
4回目	【座学】まとめ・試験対策について 【屋上演習】
5回目	マルシェ概論(流通・販売・規模などについて)
6回目	マルシェ準備 【屋上演習】
7回目	【11月23日】福岡市みどりのまちマルシェに参加
8回目	マルシェの振り返り
9回目	ビオトープ施工について【石原デザイン研究所】
10回目	福岡県内ビオトープ探訪(響灘ビオトープ)
11回目	ビオトープ振り返り・屋上ビオトープへの活用方法検討する
12回目	福岡県内ビオトープ探訪(山田緑地)
13回目	ビオトープ振り返り・屋上ビオトープへの活用方法検討する
14回目	期末テスト(レポート作成)
15回目	【9月28日】福岡市みどりのまちマルシェに参加
準備学習 時間外学習	ビオトープ管理士試験に向けて予習復習を行う。視察先の事前学習・参加する前に疑問点など事前に準備する。
評価方法	・レポート提出:60% ・授業態度:40%
「ビオトープ管理士資格試験 公式テキスト」公益財団法人日本生態系協会監修 授業スライドも印刷して配布	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習Ⅱ (Computer Skills PracticeⅡ)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	坂井 隆仁
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1時限
【授業の学習内容】 パソコンを使う事で自己学習方法を身に付けてもらいます。自己学習方法を身に付けるツールとしてオフィスを中心に使用します。理解が深まった中で必要なITリテラシーを学び自己実現を目指して下さい。 ※担当教員実務経験: 営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に付けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。 授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。							
【到達目標】 どんな場面で、どのツールを使えばいいか自分で考える事ができ、解らないことは自分で学習できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	動画編集:環境整備、静止画を使った動画作成、アニメーションを使えるようになる。
2回目	動画編集:動画を使った動画作成、カット、文字入れができるようになる。書き出しができるようになる。
3回目	動画課題①:1分間の動画作成(テーマ:各自で決めてもらいます。)
4回目	動画上映会:各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
5回目	SNS(インスタ)への投稿、商業利用時の注意点と著作権について、他SNSでのトラブル紹介
6回目	撮影練習:撮影する上での注意点、テクニックを説明したのち、各自撮影体験をする。
7回目	動画課題②-1:1分間の動画作成(テーマ:動物紹介)今まで使った技を使い自由に動画作成
8回目	動画課題②-2:1分間の動画作成(テーマ:動物紹介)今まで使った技を使い自由に動画作成
9回目	動画上映会:各自作成した動画の上映会をしSNSに投稿
10回目	動画上映会:各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
11回目	DTP① クリスマスイベントのチラシ作成 RGBとCMYKの違いについて
12回目	DTP② チラシ制作 紙の種類やサイズについて
13回目	DTP③ ログ制作、名刺制作
14回目	ホームページ制作① ペライチを使いホームページの作り方を学習 Webの仕組みについて
15回目	ホームページ制作② テーマ別のホームページ作成
準備学習 時間外学習	授業時間だけでは使える様にはなりません。 授業時間外でどれだけパソコンに触り、疑問に思うかがスキルアップの近道です。 予習復習を是非して下さい。 そして、身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。 自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をして欲しいです。
評価方法	・出席点:60% ・課題提出:40%
【使用教科書・教材・参考書】 課題資料を配布します。	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マーケティング (Marketing)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 元洋
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1時限
【授業の学習内容】 マネジメント及びマーケティングの概要と基礎を学ぶ。以下、具体的な内容。 1、リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れる 2、判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断をし、決断ができる 3、課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標が立てられる 4、計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる 5、目標管理力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる 6、顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる 7、調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる 8、組織運営力～組織メンバーとコミュニケーションを取りながら動き、部下の能力を結集できる ※教員実務経験：2016年3月～企業や社会人資格取得学校において、コーチングやリーダーシップ、心理学を取り入れた研修及び講座、カウンセリングを実施。							
【到達目標】 マネジメント及びマーケティングの基礎の習得。具体的には、以下の目標。 ①あるべき姿と現場のギャップを的確に発見して、組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てる ②課題の解決に向けて、周囲の認識を共通のものにし、部署・組織全体と連携した行動により、自身の提案を実現する ③顧客ニーズの抽出、顧客満足度を獲得するための知識、技術の習得を通して、社会人基礎力の向上を図る							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション:授業の進め方、自己紹介、なぜ、この授業を行うのか？授業の目的について
2回目	マーケティング基礎知識:マーケティングとは？マーケティングの対象、マネジメントとの関係性について
3回目	マーケティングのポイント:顧客ニーズ・顧客満足度について
4回目	マーケティングの5ステップ:マーケティングの戦略策定、4Pについて
5回目	サービスとリーダーシップ:サービスとリーダーシップの関係性からホスピタリティを考える
6回目	マネジメント基礎知識:マネジメントの役割・マネジメントの社会での必要性・マネジメントとマネージャとリーダーシップとは？
7回目	効果的な意思表示:自己の感情表現タイプをチェックし、効果的な意思表示について学ぶ
8回目	アンガーマネジメント:感情についての理解を深め、アンガーマネジメント法の基礎を学ぶ
9回目	関わり方:「物事の進め方のタイプ」について理解を深める
10回目	チームマネジメント①:グループで関わることについての理解を深める
11回目	チームマネジメント②:会議・ミーティングについて学ぶ
12回目	リーダーシップとスポンサーシップ:信頼関係を構築する関わりについて学ぶ
13回目	全体発表:学んだこと・発見したこと・印象残ったことを通して、今後、どう活かしていくのか？考えをまとめ、発表する
14回目	試験:筆記テストと実技を実施し、これまでの学びの復習と理解度を図る
15回目	まとめ・振り返り
準備学習 時間外学習	時間外学習:提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書の熟読。
評価方法	・試 験:70% ・課 題:30%(課題提出状況及び出来栄)
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材:講師作成資料 参考図書:「サクッとわかるビジネス教養 マネジメント」「アドラー関連書籍」「マーケティング見るだけノート」など	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マーケティング (Marketing)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 元洋
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1時限
【授業の学習内容】							
マネジメント及びマーケティングの概要と基礎を学ぶ。以下、具体的な内容。 1、リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れる 2、判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断をし、決断ができる 3、課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標が立てられる 4、計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる 5、目標管理能力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる 6、顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる 7、調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる 8、組織運営力～組織メンバーとコミュニケーションを取りながら動き、部下の能力を結集できる ※教員実務経験：2016年3月～企業や社会人資格取得学校において、コーチングやリーダーシップ、心理学を取り入れた研修及び講座、カウンセリングを実施。							
【到達目標】							
マネジメント及びマーケティングの基礎の習得。具体的には、以下の目標。 ①あるべき姿と現場のギャップを的確に見出し、組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てる ②課題の解決に向けて、周囲の認識を共通のものにし、部署・組織全体と連携した行動により、自身の提案を実現する ③マーケティング理論の習得を目指し、社会人として即戦力となる力を育てる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション:前期で学んだことに関する振り返り、取り組みに関する感想のシェア、質問や事例対応、2年前期の授業の説明
2回目	人の欲求と購買意欲との関係性
3回目	企業が行う取り組み①
4回目	企業が行う取り組み②
5回目	コーチングとは
6回目	効果的な目標設定
7回目	企業が活用する心理効果①
8回目	企業が活用する心理効果②
9回目	アウトプット実践:作成
10回目	アウトプット実践:発表①
11回目	アウトプット実践:発表②
12回目	企業研究～ソシャゲ・Fb・楽天～
13回目	後期復習
14回目	試験
15回目	まとめ・振り返り
準備学習 時間外学習	時間外学習:提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書の熟読。
評価方法	● 試 験 : 70点 ● 課 題 : 30点(課題提出状況及び出来栄)
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材:講師作成資料 参考図書:「コーチングの基本」「コーチングが人を動かす」など	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	起業家学習 II (Entrepreneurship Learning II)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩 辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 3時限
【授業の学習内容】 地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力(アントレプレナーシップ)を培うための基礎講座。 起業家的行動能力とは、アイデアを生み出す想像力・創造力、また独創的な解決策を生み出し周りの人を巻き込みながら新しい事業を創出できる資質であり、皆さんが今後どのような職業に就いても必要になる力である。この科目では、この起業家的行動能力の基盤となる、常識を疑う視点、見出した課題の解決を持続可能な事業として形にする計画立案力、それを実行するための資金調達力、協力者を得たための人を巻き込むネットワーキングなどを培うための実践を行う。そして、それらの一連の活動を通して、各自が情熱を注げる事を見つけ恐れずにチャレンジする姿勢を養う。また、コーチとして1年生と一緒に事業を推進する中でリーダーシップやチームマネジメント力を強化する。 ※担当教員: アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。							
【到達目標】 1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。 2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。 3. コーチとしてプロジェクトを推進することでチームマネジメントとリーダーシップを培う。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	1年次の振り返りとコーチングについて: コーチングとは何か、何のために行うのかを学び、2年生の役割を知る
2回目	ビジネスチャンスを見つける : 自分達の身近なところにある不便さを解決することがビジネスにつながることを事例を挙げて紹介し、学生が利用する製品やサービスにもそういうものがないか考えさせる。
3回目	チャンスをビジネスにする: 自分達が気づいたビジネスチャンスを生かすためにどうするか考え、検討する上で必要なデータをどのように集めるか具体的な計画を書いてみる
4回目	調査・分析・フィールドワーク①: 自分達の調査計画に則ってフィールド調査の準備をする(調査場所・ヒアリングする人・何を質問するか・調査情報はどのような形で分析するかなど)※1年生の中に入りアドバイス
5回目	調査・分析・フィールドワーク②: 前回の調査データを分析し、自分達がこの授業で形にする事業アイデアを議論する
6回目	プロジェクト決定!! : チームで取り組む事業アイデアを決め、それを実現するために必要な作業をリストアップしスケジュールを立案する
7回目	競合他社の研究: 自分達の事業アイデアと似たような事業をしているところを調べ、自分達の強み弱みなどを検討する(SWOT分析・ポジショニング分析)※1年生のSWOT分析サポート
8回目	事業の分析: 前回学んだフレームワークを使い、自分達の事業を分析したうえで、互いに意見交換し事業内容を見直す※1年生の授業計画決めサポート
9回目	収支計画と資金調達: 事業をするうえで必要な経費の計算をするとともに、事業をする上での資金調達について学ぶ(融資、補助金、助成金、協賛・寄付、クラウドファンディング等)※1年前の取り組み例を1年生に教える
10回目	マーケティングについて: ターゲット顧客の設定方法(セグメンテーション)・最近の消費者行動(AIDMA→AISAS)について学ぶ※1年前の取り組み例を1年生に教える
11回目	事業計画書の立案: 今まで議論したことを事業計画書としてまとめる※1年生のサポート
12回目	プレゼン資料作成: 事業計画書にもどいて、支援者に説明する資料を作成し、協力者を増やすプレゼンを学ぶ※資料のサンプルを見せサポート
13回目	ネットワーキング: 事業を説明するプレゼン資料が出来たら、身近な人達に事業内容を聞いてもらい、いろんな意見を聞き、それを参考にさらに事業内容を改善する※1年性にプレゼンのフィードバックをする
14回目	協力者を見つける: 改善した事業資料を持って、協力して欲しい企業等を訪問し、その結果を報告しあう
15回目	事業の実現に向けて: 訪問企業の人達から得た助言を生かし、今後、どのように提案事業を実施していくかを計画し、発表しあう
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	・事前課題等の各種レポート: 50% ・授業内発表: 30% ・出席率: 20%
オリジナルプリント、オンライン教材(ユースエンタープライズ)など	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	起業家学習 II (Entrepreneurship Learning II)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩 辰則
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 3時限

【授業の学習内容】

地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力(アントレプレナーシップ)を培うための基礎講座。
 起業家的行動能力とは、アイデアを生み出す想像力・創造力、また独創的な解決策を生み出し周りの人を巻き込みながら新しい事業を創出できる資質であり、皆さんが今後どのような職業に就いても必要になる力である。この科目では、この起業家的行動能力の基盤となる、常識を疑う視点、見出した課題の解決を持続可能な事業として形にする計画立案力、それを実行するための資金調達力、協力者を得たための人を巻き込むネットワーキング力などを培うための実践を行う。そして、それらの一連の活動を通して、各自が情熱を注げる事を見つけ恐れずにチャレンジする姿勢を養う。また、コーチとして1年生と一緒に事業を推進する中でリーダーシップやチームマネジメント力を強化する。
 ※担当教員:アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。

【到達目標】

1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。
2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。
3. コーチとしてプロジェクトを推進することでチームマネジメントとリーダーシップを培う。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	資金調達を体験してみよう！:事業計画書で決めた方法で資金援助を頼む(頼みに行く)
2回目	試作を決める&作る:「プレタイプ」の手法を知る。各自考えてきた試作の発表とどのプレタイプピングを行うか決めて試す※1年生に事例を教える
3回目	試作のフィードバックと改良を行う:プレタイプの結果をフィードバックし、良かったものの改良を行いプロトタイプを作る。
4回目	活動の発信と広報のやり方を知る:広報と発信方法について学び、ターゲット顧客に合わせた方法を決めて発信する※1年生に事例を教える
5回目	プロトタイプのお披露目:協力企業にもっていき、フィードバックをもらう。持ち帰って商品を作り始める
6回目	発表準備&商品づくり:商品づくりを引き続き行う。PPTを使つての発表の仕方・見せ方を学ぶ※1年生に事例を教える
7回目	プロジェクトの進捗発表:協力者に向けて1年半取り組んできたことと進捗を発表する。
8回目	プロジェクトの準備①:プロジェクト実施に必要な機材や看板などを手配・作成する※1年生に事例を教える
9回目	プロジェクトの準備②:プロジェクト実施に必要な機材や看板などを手配・作成する
10回目	プロジェクトの準備最終確認、データまとめの仕方を学ぶ:顧客データがなぜ必要か、データの収集の仕方、PPT上での表現の仕方を学ぶ※1年生に事例を教える
11回目	プロジェクトの実施①:現地でプロジェクトを実施する(データを集めてまとめる)
12回目	プロジェクトの実施②:現地でプロジェクトを実施する(データを集めてまとめる)
13回目	プロジェクトの結果まとめと発表準備:事業計画に沿って収支をまとめ、結果を総括する
14回目	プロジェクトの成果発表と第三者評価:協力者に向けてプロジェクトの結果を発表し、フィードバックをもらう
15回目	1年間の振り返りと総括:1年間で学んできたことの復習と各自の成長を認識する※1年生へ一言

- 準備学習
時間外学習
1. 事前課題など各種レポートを書く。
 2. 授業資料に目を通すこと。

- 評価方法
- ・事前課題等の各種レポート:50%
 - ・授業内発表:30%
 - ・出席率:20%

【使用教科書・教材・参考書】

オンライン教材(ユースエンタープライズ)など

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	フィールドワーク演習Ⅱ (Fieldwork Exercises II)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	高濱 淳／高濱 香
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 2時限
【授業の学習内容】 ロープワーク、空中ドローン＆水中ドローン操縦実習、公園の生物調査を行い調査試料作成方法を学ぶ。心停止等生命にかかわる緊急時のケアを大人と子供の人形、AED、酸素呼吸システムを使ってスキルを身に付けたり、即座に生命に関わらない怪我や病気の人に包帯の巻き方や脈の測り方等を実習する。 ※担当教員実務経験:PADIスクーバインストラクター歴25年 PADIコースディレクター歴17年 潜水作業歴25年 フィリピン ボラカイ島のダイビングリゾート勤務歴7年 福岡ECOでのオープンウォーター担当歴22年 潜水土担当歴21年 ライフセービング担当歴13年 ダイビングゼミ担当歴22年、水中カメラゼミ担当歴10年 水中ドローン安全潜航操縦士インストラクター歴1年							
【到達目標】 空中ドローン＆水中ドローン操縦方法を学び調査、捜索に使用出来るようになる。公園の生物調査を行い、調査資料作成方法を学び企画資料作成出来るようになる。PADI EFR(エマージェンシーレスポnder)資格取得を目指し、陸や海での緊急事態に素早く対処出来る様になる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション/アンケート/資格案内
2回目	ロープワーク
3回目	水中ドローン学科
4回目	水中ドローン学科
5回目	ドローン操作実習
6回目	漂流事故の予防と対処方法
7回目	公園の生物調査実習
8回目	公園の生物調査資料作成
9回目	公園の生物調査実習
10回目	公園の生物調査資料作成
11回目	公園の生物調査実習
12回目	公園の生物調査資料作成
13回目	パワーポイントを使用し、生物調査資料作成
14回目	パワーポイントを使用し、生物調査資料発表
15回目	色々な潜水作業、ダイビング番組のDVD鑑賞
準備学習 時間外学習	・ロープワーク、ドローン操作、生物調査、パワーポイント等、常時使える様に日頃の復習が重要。
評価方法	・筆記試験:40% ・実技評価:40% ・出席評価:20%
【使用教科書・教材・参考書】 ロープ、DVD、水中ドローン、PC	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	フィールドワーク演習Ⅱ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	高濱 淳
	(Fieldwork ExercisesⅡ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 2時限
【授業の学習内容】 心停止等生命にかかわる緊急時のケアを大人と子供の人形、AED、酸素呼吸システムを使ってスキルを身に付けたり、即座に生命に関わらない怪我や病気の人に包帯の巻き方や脈の測り方等を実習する。 ※担当教員実務経験:PADIスクーバインストラクター歴25年 PADIコースディレクター歴17年 潜水土歴25年 福岡ECOでのオープンウォータ担当歴22年、潜水土担当歴20年 ライフセービング担当歴13年 ダイビングゼミ担当歴22年 水中カメラゼミ担当歴10年 水中ドローン安全潜航操縦士インストラクター歴1年							
【到達目標】 PADI EFR(エマージェンシーレスポnder)資格取得を目指し、陸や海での緊急事態に素早く対処出来る様になる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション/アンケート/ライフセービング資格説明
2回目	一次ケアー 知識の予習
3回目	一次ケアー 現場の評価・バリアの使い方
4回目	一次ケアー 回復体位
5回目	一次ケアー CPR
6回目	一次ケアー CPRとレスキュー呼吸
7回目	一次ケアー 中間評価
8回目	一次ケアー AEDの使用方法
9回目	一次ケアー ショックの管理、脊髄損傷の管理、気道閉塞の対応
10回目	一次ケアー 酸素呼吸装置の使用方法
11回目	二次ケアー 怪我や病気の評価
12回目	二次ケアー 包帯、副木、三角巾の使用方法
13回目	一次ケアー、二次ケアー 知識の復習
14回目	期末評価
15回目	社会人としてのライフセービング
準備学習 時間外学習	・緊急事態の時に、素早く対応出来る様に、PADI EFR テキストを使いスキルの復習が必要。
評価方法	・筆記試験:40% ・実技評価:40% ・出席評価:20%
【使用教科書・教材・参考書】 PADI EFRテキスト、EFR DVD	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アドベンチャーツーリズムⅡ (Adventure TourismⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	一般社団法人九州のムラ 養父 信夫
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 1・2時限
【授業の学習内容】 1年次に学んだことを基礎にして、各個人毎の将来就きたい仕事につながる授業内容(個別指導)及び実地研修を組み込む。 ※担当教員実務経験: 現在一般社団法人九州のムラの代表理事であり、「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任している。九州全土のムラとマテの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても活躍している。							
【到達目標】 将来就きたい仕事についてある程度イメージできる状態になっている。講師以外にそのことについて相談できる第三者のネットワークが構築できている。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	「九州のムラ」からアドベンチャーツーリズムを学ぶ
2回目	農業の複合経営を学ぶ(冊子 魅力物語から その①)
3回目	農業の複合経営を学ぶ(冊子 魅力物語から その②)
4回目	農業の複合経営を学ぶ(冊子 魅力物語から その③)
5回目	宗像国際環境会議の取り組みからSDGを学ぶ
6回目	地域おこし協力隊について学ぶ
7回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
8回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
9回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
10回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
11回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
12回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
13回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
14回目	2泊3日 実地研修(環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など)
15回目	前期テスト(レポート)課題提出 & 返却
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行う
評価方法	レポート評価60% 授業態度40%
【使用教科書・教材・参考書】 雑誌「九州のムラ」、「農ある暮らしスズメ〜中山間地域農業の複合経営魅力物語」九州のムラHP、宗像国際環境会議HP、総務省「地域おこし協力隊」制度 HP他	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アドベンチャーツーリズムⅡ (Adventure TourismⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	一般社団法人九州のムラ 養父 信夫
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 1・2時限
【授業の学習内容】 実際に地域に2週間研修として入り、「グリーンツーリズムとは何か」「地域での農村ビジネスの可能性」「地域おこし協力隊として仕事をするとはどういうことか」などを学ぶ。 ※担当教員実務経験： 現在一般社団法人九州のムラの代表理事であり、「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任している。九州全土のムラとマチの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても活躍している。							
【到達目標】 将来的に自分が就きたい仕事についてイメージが前期より明確になっている状態を作る。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
2回目	1泊2日 実地研修
3回目	1泊2日 実地研修
4回目	1泊2日 実地研修
5回目	1泊2日 実地研修
6回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
7回目	1泊2日 実地研修
8回目	1泊2日 実地研修
9回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
10回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
11回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
12回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
13回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
14回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
15回目	後期テスト(レポート)課題提出、回収
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行う
評価方法	レポート評価60% 授業態度40%
【使用教科書・教材・参考書】 「阿蘇遺産」「九州のムラ」「中山間地魅力物語」	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海洋活動Ⅱ (Marine Activity Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大迫 綾美
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	不定期
【授業の学習内容】 海洋調査における調査技法の実践を通して学ぶと共に、実際にデータを取りテーマに沿った調査を行います。 ※担当教員実務経験:高知県にある砂浜美術館にて、ホエールウォッチングのガイドやクジラの生態調査に携わる。							
【到達目標】 ①海洋調査の方法を知る。 ②調査結果を用いてデータ分析ができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション(施設事前学習)
2回目	オリエンテーション(施設事前学習)
3回目	実地調査
4回目	実地調査
5回目	実地調査
6回目	実地調査
7回目	実地調査
8回目	実地調査
9回目	実地調査
10回目	実地調査
11回目	実地調査
12回目	実地調査
13回目	調査振り返り、事後学習
14回目	調査振り返り、事後学習
15回目	前期期末試験
準備学習 時間外学習	・実習施設事前研究 ・調査結果集計、まとめ
評価方法	評価1(総合):プロジェクトの達成度を総合的に判断して評価。(20%) 評価2(専門力):授業で学んだ専門知識や技術を活かして取り組むことが出来たか評価。(40%) 評価3(人間力):チームで協力して目標を達成するために、自己の役割を果たすことが出来たのか評価。(40%)
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材:講師作成資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海洋活動Ⅱ (Marine Activity Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大迫 綾美
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	不定期
【授業の学習内容】							
海洋調査における調査技法の実践を通して学ぶと共に、実際にデータを取りテーマに沿った調査を行います。 ※担当教員実務経験:高知県にある砂浜美術館にて、ホエールウォッチングのガイドやクジラの生態調査に携わる。							
【到達目標】							
①海洋調査の方法を知る。 ②調査結果を用いてデータ分析ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(施設事前学習)
2回目	オリエンテーション(施設事前学習)
3回目	実地調査
4回目	実地調査
5回目	実地調査
6回目	実地調査
7回目	実地調査
8回目	実地調査
9回目	実地調査
10回目	実地調査
11回目	実地調査
12回目	実地調査
13回目	調査振り返り、事後学習
14回目	調査振り返り、事後学習
15回目	後期期末試験
準備学習 時間外学習	・実習施設事前研究 ・調査結果集計、まとめ
評価方法	評価1(総合):プロジェクトの達成度を総合的に判断して評価。(20%) 評価2(専門力):授業で学んだ専門知識や技術を活かして取り組むことが出来たか評価。(40%) 評価3(人間力):チームで協力して目標を達成するために、自己の役割を果たすことが出来たのか評価。(40%)
【使用教科書・教材・参考書】	
使用教材:講師作成資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	インタープリテーション (Interpretation Study)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	特定非営利活動法人ピッキオ
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義
【授業の学習内容】							
ネイチャーガイドや動物園・水族館のスタッフは、自然環境とそこに棲む生物や地域特性について、お客様に楽しみながら理解してもらうことが重要。そのためにはまったく興味が無い人から関心が高い人まで、お客様のニーズにあった解説テクニックが必要。本授業では、まず解説者本人がインタープリテーションへの理解を深め、より多くの人を楽しんでもらえる解説方法を実践的に学ぶ。							
※担当教員実務経験：一般の方々を中心に心躍る動植物との出会いをサポートし、そのおもしろさや不思議さにふれるネイチャーツアーを開催している団体の従事者より指導頂く。							
【到達目標】							
対象地域の自然環境や地域特性について分析できるようになる。 お客様のニーズに合わせたガイド内容を企画することができるようになる。 想定外の事態にも臨機応変に対応できるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	インタープリテーションとは(定義と原則)について理解する。
2回目	インタープリターの役割
3回目	参加者の特徴とニーズ
4回目	インタープリテーション体験I
5回目	テーマの選び方・分析方法【練習】
6回目	プログラムの作成方法【練習】
7回目	プログラム内容の作成・調査方法【練習】
8回目	安全管理・対処方法
9回目	インタープリテーション体験II
10回目	インタープリテーション体験II
11回目	テーマの選び方・分析方法【実践】
12回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
13回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
14回目	ツアー実践
15回目	ツアー評価と振り返り
準備学習 時間外学習	授業中に適宜課題を与える。 発表内容は多くは授業外で準備すること。
評価方法	・実技試験(プレゼンテーション): 40% ・出席率: 40% ・授業態度: 20%
【使用教科書・教材・参考書】	
インタープリテーション入門/小学館	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	インタープリテーション (Interpretation Study)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	特定非営利活動法人ピッキオ
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義
【授業の学習内容】							
ネイチャーガイドや動物園・水族館のスタッフは、自然環境とそこに棲む生物や地域特性について、お客様に楽しみながら理解してもらうことが重要です。そのためには、まったく興味が無い人から関心が高い人まで、お客様のニーズにあった解説テクニックが必要です。本授業では、まず解説者本人がインタープリテーションへの理解を深め、より多くの人を楽しんでもらえる解説方法を実践的に学びます。 ※担当教員実務経験：一般の方々を中心に心躍る動植物との出会いをサポートし、そのおもしろさや不思議さにふれるネイチャーツアーを開催している団体の従事者より指導頂く。							
【到達目標】							
対象地域の自然環境や地域特性について分析できるようになる。 お客様のニーズに合わせたガイド内容を企画することができるようになる。 想定外の事態にも臨機応変に対応できるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	前期振り返り
2回目	インタープリテーション体験Ⅲ
3回目	インタープリテーション体験Ⅲ
4回目	テーマの選び方・分析方法【実践】
5回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
6回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
7回目	ツアー実践
8回目	ツアー評価と振り返り
9回目	インタープリテーション体験Ⅳ
10回目	インタープリテーション体験Ⅳ
11回目	テーマの選び方・分析方法【実践】
12回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
13回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
14回目	ツアー実践
15回目	ツアー評価と振り返り
準備学習 時間外学習	授業中に適宜課題を与える。 発表内容は多くは授業外で準備すること。
評価方法	・実技試験(プレゼンテーション): 40% ・出席率: 40% ・授業態度: 20%
【使用教科書・教材・参考書】	
インタープリテーション入門/小学館	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	進級課題 (Level Advancement Study)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩 辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。							
【到達目標】							
学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	進級課題とは① ～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自(各班)で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容:80% ・課題への参加度:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修 (Business internship)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。 ※担当教員実務経験:研修先にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。 ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。 ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。 ・自らの「キャリア」をデザインできる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出:80% ・インターンシップ先企業からの評価表:20% これらを総合的に判断して評価
【使用教科書・教材・参考書】 キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義&見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。 学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。 ※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。 ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。 ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。 ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート：100%
【使用教科書・教材・参考書】 キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		曜日・時限	月曜日 5時限、水曜日 1限目	

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話すことができる。ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントについて話すことができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。店内で欲しいものについて述べる。新しい商品の説明を読む、またVlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容			
1回目	所有代名詞(whose)を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなメールを読む、書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	習慣・ルーティンについて質問する。[Wh-question]を練習する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	繰り返しを求める表現を学ぶ。意思疎通に問題があったことを説明する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	「現在進行形」「単純現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ。将来のプランについて話す	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	招待する、招待に応える表現を学ぶ。招待を断る理由を説明する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶについて」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「過去形」(陳述文の否定形;疑問文)を復習する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[be going to]を復習する買い物に行くことについて会話する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	店内で欲しいものについて述べる。物事の言い方を英語で聞く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	・小テストの正解率にて評価 (前期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)		
【使用教科書・教材・参考書】			
EVOLVE2			

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		曜日・時限	月曜日 5時限、水曜日 1限目	

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べるができる。広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフイーについての短いコメントを書くことができる。天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	キッチンカーをデザインする「動詞型」を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	[if / when]の使い方を学ぶ。自分の町で何をするかについて話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	「問い返し疑問文」を学ぶ。提案をする、また提案をうける表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	「形容詞の最高級」を学ぶ。写真に写った人について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	広告を読む、また写真の説明を書く	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[have to]の使い方を学ぶ。職場での危険を回避することについて話す	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	[It feels like (it's like)]を使い、健康問題について話す；健康問題についてアドレスをもらう	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画し、発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	ソーシャルメディア(ネット)生まれの動詞を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	インフォグラフィックを読む、セルフイーについての短いコメントを書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[be like]を使い、天気について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ。言い改める際に使う表現を学ぶ、復習する	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	・小テストの正解率にて評価 (後期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各イベント実務従事者
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。 企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。 ※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・企画立案、運営ができるようになる。 ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。 ・接客を知り、実践できるようになる。 ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。 ・予算管理を実践し習得する。 ・スケジュールリングを理解し、実践できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備：50% ・レポート：50%
【使用教科書・教材・参考書】 過去のイベント資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
学生会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。							
【到達目標】							
・チームワークを身に付ける。 ・計画性を身に付ける。 ・予算管理を身に付ける。 ・マネジメントを理解し身に付ける。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。 ※担当教員:各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。 ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去のボランティア活動報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	後藤 博美
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。							
【到達目標】							
・各検定試験、資格試験の合格							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去の各検定、資格教本	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション III (Global Communivcation III)	必修 選 択	必修	年 次	3	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	月曜日 5時限、木曜日 2時限
【授業の学習内容】							
リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。							
※担当教員実務経験：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。							
【到達目標】							
日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ
2回目	[I'm]/m/の発音を学ぶ。誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を用いた、言い方を和らげる表現を学ぶ
3回目	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ
4回目	/ɑ/./æ/の発音を学ぶ。久しぶりにあった際の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見(コメント)の述べ方を学ぶ
5回目	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞[have to, need to, must]を学ぶ
6回目	文中の区切り(発音)を学ぶ。自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ
7回目	U7-9の振り返り
8回目	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	商品や輸送に関する単語を学ぶ 単純過去形の受動態について学ぶ
10回目	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ
11回目	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ
12回目	自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ [On the one hand, ... and on the other hand.]を用いた比較の表現を学ぶ
13回目	過激なことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ
14回目	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ
15回目	期末試験
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	・小テストの正解率にて評価 (後期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)
【使用教科書・教材・参考書】	
EVOLVE3	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅢ (Career Planning Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	後藤 博美
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 2時限
【授業の学習内容】							
キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。 進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。 各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること(チームワーク)を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。							
【到達目標】							
卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。 チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことができる。 社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。 自己実現のための目標設定をし実践できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	後期オリエンテーション: 後期スケジュール確認と目標設定と実践プランの作成
2回目	1週目を終えて授業の確認・授業の受け方(準備・ノートのとり方)・号令や掃除の仕方の確認と実施
3回目	2週目の振り返り(課題: 自己分析・将来の方向性・企業リサーチなど)
4回目	進級課題制作: テーマ設定、チーム決め、内容決め
5回目	進級課題制作: テーマ決定、制作、中間試験について
6回目	進級課題制作: 制作
7回目	進級課題制作: 制作
8回目	中間試験の振り返り、進級課題制作: 制作
9回目	進級課題制作: 制作、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	進級課題発表: 前半グループ
11回目	進級課題発表: 後半グループ
12回目	イベント運営: We are ECO 進級制作展準備、期末試験・補講・追再試について、冬休みの過ごし方について
13回目	イベント運営: We are ECO 進級制作展準備
14回目	イベント運営: We are ECO 進級制作展準備
15回目	期末試験の振り返り、後期の振り返り、次年度カリキュラムについて理解する、イベント運営: We are ECO 進級制作展準備
準備学習 時間外学習	・特別講義に参加 ・事前課題に取り組み、各種レポートを提出すること
評価方法	クラス(集団)への参加度や理解度…80% 事前課題などの各種レポートの提出と記入内容…20%
【使用教科書・教材・参考書】	
Hand-book of Life style オリジナル資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アグリテックⅢ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	(株)マイファーム 工藤雄太・八兒美恵子
	(Agritech Ⅲ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 1・2時限
【授業の学習内容】 これまで学習してきたビオトープや人と環境とのかかわり、農業生産などに関する商品開発をしていく。また、企画立案から商品提供までの流れを考えて実践していく。 ※担当教員実務経験:(工藤)屋久島でのエコツアー、環境教育事業に携わる。「北九州・魚部」を法人化し、水生生物の生息調査、環境教育活動、事業立案およびマネジメント、出版、コンセプトカフェ経営や、稲作と生物多様性保全を両立するプロジェクトなど多岐にわたる業務に従事。(八兒)福岡県飯塚市にて有機農産物を生産。アイガモ農法などの経験有。生き物を大切にする農業を心がけ、農薬や化学肥料を一切使わない農業を行う。株式会社マイファームの技術講師として、糟屋郡新宮町で有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。福岡県ビオトープ管理士会所属。							
【到達目標】 企画作成から、商品開発までの一連の流れを自ら考え、他者にプレゼンテーションすることが出来る。また、基本的な経営の考え方も取り入れて社会での即戦力になる考え方を身に着ける。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション・企業プロジェクトについて
2回目	企業プロジェクト計画コンセプト作成①
3回目	企業プロジェクト計画コンセプト作成②
4回目	企業プロジェクトプランニング①
5回目	企業プロジェクトプランニング②
6回目	企業プロジェクトコミュニケーション
7回目	企業プロジェクト制作・実施①
8回目	企業プロジェクト振り返り・修正
9回目	企業プロジェクト聞き取り調査
10回目	企業プロジェクト分析①
11回目	企業プロジェクト実施②
12回目	企業プロジェクト分析②
13回目	企業プロジェクトプレゼンテーション作成
14回目	企業プロジェクトプレゼンテーション練習
15回目	企業プロジェクト振り返り
準備学習 時間外学習	プロジェクトに関わる準備についての下調べ、情報収集を行う。
評価方法	・授業態度:40% ・企業プロジェクト発表:60%
【使用教科書・教材・参考書】 講師作成資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ドローン演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	楽満 信幸
	(Drone Operation)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 2時限
【授業の学習内容】							
本科目は、これからの時代に必要なドローンの技術・知識を学び、実践する科目になります。ドローン運用に必要な法律の知識から整備方法や操縦技術を授業で経験することができ、更にはドローンのカメラの使い方、自動操縦の活用方法を学びます。 ※担当教員実務経験： 無人航空機操縦技術資格、無人航空機安全運航管理者資格、JUIDA認定スクール講師資格を所持し、福岡ドローンアカデミーでインストラクター兼学校長として従事している。							
【到達目標】							
・ドローン操縦のために必要な基本的な知識を身につける。 ・ドローン整備のために必要な基本的な知識を身につける。 ・ドローンの操縦を習得する。(GPSセンサーあり) ・ドローンの操縦を習得する。(GPSセンサーなし)							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	【座学】無人航空機論 ドローンとは？
2回目	【座学】ドローンの法規制・ルールについて
3回目	【座学】ドローン技術 飛行原理
4回目	【座学】ドローンパイロットに必要な電波と無線の知識について
5回目	【座学】ドローンパイロットに必要な気象の知識について
6回目	【座学】ドローンの運用体制 飛行計画について
7回目	【座学】許可・承認が必要な飛行について
8回目	【座学】ドローン飛行の現場監督 安全運行管理について
9回目	【実技】組み立て・点検・操作方法について
10回目	【実技】GPSセンサーありの飛行実習
11回目	【実技】GPSセンサーなしの飛行実習
12回目	【実技】GPSセンサーなしの飛行実習
13回目	【実技】GPSセンサーなしの飛行実習
14回目	【実技】ドローンのカメラの使い方
15回目	【実技】ドローンの自動操縦について
準備学習 時間外学習	・小テストの復習 ・ドローン飛行前の安全確認手順の予習 ・ドローンで撮影した動物の映像を探して見る
評価方法	・小テスト: 50% ・実技テスト: 50%
【使用教科書・教材・参考書】	
自社で制作した動画・教科書を使用	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	マーケティング演習	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	中村元洋
	(Marketing Practices)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用		曜日・時限	不定期開講	
【授業の学習内容】 マネジメントの概要と基礎を学ぶ。以下、具体的な内容である。 1、リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れるし、決断ができる 2、判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断を 3、課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標が立てられる 4、計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる 5、目標管理能力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる 6、顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる 7、調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる							
【到達目標】 ①経営戦略の立て方を学ぶ ②実践の中で経営戦略を実行するやり方を学ぶ。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション:前期で学んだことに関する振り返り、取り組みに関する感想のシェア、質問や事例対応、2年前期の授業の説明
2回目	人の欲求と購買意欲との関係性
3回目	企業が行う取り組み①
4回目	企業が行う取り組み②
5回目	コーチングとは
6回目	効果的な目標設定
7回目	企業が活用する心理効果①
8回目	企業が活用する心理効果②
9回目	アウトプット実践:作成
10回目	アウトプット実践:発表①
11回目	アウトプット実践:発表②
12回目	企業研究～ソシャゲ・Fb・楽天～
13回目	後期復習
14回目	試験
15回目	まとめ・振り返り
準備学習 時間外学習	時間外学習:提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書の熟読。
評価方法	・試験:70点 ・課題:30点(課題提出状況及び出来栄)
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材:講師作成資料 参考図書:「コーチングの基本」「コーチングが人を動かす」など	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	起業家学習 III (Entrepreneurship Learning III)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	赤岩 辰則
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 4時限
【授業の学習内容】 本講座は、地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力(アントレプレナーシップ)を培うための応用講座です。1年、2年次に学んだ事業創造の基礎経験を活かし、社会事業(ソーシャル・エンタプライズ)の実践を通じて、世界が共有する課題解決に挑戦し、ソーシャル・アントレプレナーとしての資質を培います。 ※担当教員:アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。							
【到達目標】 1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。 2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。 3. コーチとしてプロジェクトを推進することでチームマネジメントとリーダーシップを培う。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	事業計画立案
2回目	プレゼン資料作成:事業計画書にもどついて、支援者に説明する資料を作成し、協力者を増やすプレゼンを学ぶ※資料のサンプルを見せサポート
3回目	ネットワーキング:事業を説明するプレゼン資料が出来たら、身近な人達に事業内容を聞いてもらい、いろんな意見を聞き、それを参考にさらに事業内容を改善する※1年性にプレゼンのフィードバックをする
4回目	協力者を見つける:改善した事業資料を持って、協力して欲しい企業等を訪問し、その結果を報告しあう
5回目	事業の実現に向けて:訪問企業の人達から得た助言を生かし、今後、どのように提案事業を実施していくかを計画し、発表しあう
6回目	プロジェクトの準備①
7回目	プロジェクトの準備②
8回目	プロジェクトの準備③
9回目	プロジェクトの準備④
10回目	プロジェクトの実施①
11回目	プロジェクトの実施②
12回目	プロジェクトの実施③
13回目	プロジェクトの実施④
14回目	プロジェクトの成果発表と第三者評価:協力者に向けてプロジェクトの結果を発表し、フィードバックをもらう
15回目	1年間の振り返りと総括:1年間で学んできたことの復習と各自の成長を認識する※1年生へ一言
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	・事前課題等の各種レポート:50% ・授業内発表:30% ・出席率:20%
【使用教科書・教材・参考書】 オンライン教材(ユースエンタープライズ)など	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	起業家学習 III (Entrepreneurship Learning III)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	赤岩 辰則
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 4時限
【授業の学習内容】 本講座は、地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力(アントレプレナーシップ)を培うための応用講座です。1年、2年次に学んだ事業創造の基礎経験を活かし、社会事業(ソーシャル・エンタプライズ)の実践を通じて、世界が共有する課題解決に挑戦し、ソーシャル・アントレプレナーとしての資質を培います。 ※担当教員:アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。							
【到達目標】 1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。 2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。 3. コーチとしてプロジェクトを推進することでチームマネジメントとリーダーシップを培う。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	事業計画立案
2回目	プレゼン資料作成:事業計画書にもどついて、支援者に説明する資料を作成し、協力者を増やすプレゼンを学ぶ※資料のサンプルを見せサポート
3回目	ネットワーキング:事業を説明するプレゼン資料が出来たら、身近な人達に事業内容を聞いてもらい、いろんな意見を聞き、それを参考にさらに事業内容を改善する※1年性にプレゼンのフィードバックをする
4回目	協力者を見つける:改善した事業資料を持って、協力して欲しい企業等を訪問し、その結果を報告しあう
5回目	事業の実現に向けて:訪問企業の人達から得た助言を生かし、今後、どのように提案事業を実施していくかを計画し、発表しあう
6回目	プロジェクトの準備①
7回目	プロジェクトの準備②
8回目	プロジェクトの準備③
9回目	プロジェクトの準備④
10回目	プロジェクトの実施①
11回目	プロジェクトの実施②
12回目	プロジェクトの実施③
13回目	プロジェクトの実施④
14回目	プロジェクトの成果発表と第三者評価:協力者に向けてプロジェクトの結果を発表し、フィードバックをもらう
15回目	1年間の振り返りと総括:1年間で学んできたことの復習と各自の成長を認識する※1年生へ一言
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	・事前課題等の各種レポート:50% ・授業内発表:30% ・出席率:20%
【使用教科書・教材・参考書】 オンライン教材(ユースエンタープライズ)など	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	フィールドワーク演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	藤本 操
	(Fieldwork Exercises Ⅲ)	授業形 態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方 法	対面授業			曜日・時限	水曜日 3時限
【授業の学習内容】							
アドベンチャーツーリズムの基礎知識を学べます。ツーリズムガイドとしてアクティビティーの企画立案が出来るように実践的な知識・人間力を身につける ※担当教員実務経歴: 国営海の中道海浜公園官民連携推進事業 アクティビティ担当インストラクター／(一社)九州アドベンチャーツーリズム協議会 代表理事							
【到達目標】							
アドベンチャーツーリズムガイドのアクティビティーインストラクターとして即戦力で現場に求められる知識・技術を学ぶ。 また6回のフィールド実技演習を通して、様々なアクティビティのインストラクションを実践しながら身に付ける。 フィールド実技演習は下記の点を重点項目とする。 ①検定試験：パシジテスト2級 SUJ SUP LEVEL1インストラクター ②安全管理：レスキュー・ファーストエイド ③インストラクション：SUP・カヤック・トレッキング・サイクリング							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目 9/25	アドベンチャーツーリズム概論
2回目 9/28	①フィールド実技演習 ツーリズムガイド アクティビティ編 SUP・カヤック実習 バッジテスト2級 海の中道海浜公園
3回目 9/28	
4回目 9/28	
5回目 9/28	
6回目 10/9	アドベンチャーツーリズム基礎知識 自然体験編
7回目 10/12	②フィールド実技演習 ツーリズムガイド 文化体験編 サウナ・モルック体験 篠栗 ウェルビレッジうりうの
8回目 10/12	
9回目 10/12	
10回目 10/12	
11回目 10/23	アドベンチャーツーリズム基礎知識 アクティビティ体験編
12回目 10/26	③フィールド実技演習 観光まちづくり編 マルシェ運営 海の中道海浜公園
13回目 10/26	
14回目 10/26	
15回目 10/26	
16回目 11/6	アドベンチャーツーリズム基礎知識 文化体験編
17回目 11/9	④フィールド実技演習 ツーリズムガイド 自然体験編 立花山トレッキング
18回目 11/9	
19回目 11/9	
20回目 11/9	
21回目 11/23	⑤フィールド実技演習 ツーリズムガイド アクティビティ編 SUPインストラクター養成講座 バッジテスト2級 海の中道海浜公園
22回目 11/23	
23回目 11/23	
24回目 11/23	
25回目 12/14	⑥フィールド実技演習 ツーリズムガイド アクティビティ編 サイクリング 海の中道海浜公園～志賀島
26回目 12/14	
27回目 12/14	
28回目 1/15	後期授業のまとめ
29回目 1/22	後期評価試験および振り返り
30回目 1/29	後期フィールド実技演習の振り返り
準備学習 時間外学習	・アドベンチャーツーリズムでのガイド・インストラクターが担う役割を理解し、各地のマリンアクティビティの取り組みを調べる ・フィールド実技演習の内容について、各自で復習を行い身につける。
評価方法	・授業態度:20% ・筆記試験:40% ・フィールド実技実習参加状況:40%
【使用教科書・教材・参考書】	
一社)日本SUP指導者協会「for OFFICIAL INSTRUCTOR LEVEL 1 テキストブック」	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グリーンツーリズムⅢ (Green Tourism Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	一般社団法人九州のムラ 養父 信夫
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 2・3時限
【授業の学習内容】 実際に地域に2週間研修として入り、「グリーンツーリズムとは何か」「地域での農村ビジネスの可能性」「地域おこし協力隊として仕事をするとはどういうことか」などを学ぶ。 ※担当教員実務経験： 現在一般社団法人九州のムラの代表理事であり、「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任している。九州全土のムラとマチの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても活躍している。							
【到達目標】 将来的に自分が就きたい仕事についてイメージが前期より明確になっている状態を作る。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
2回目	1泊2日 実地研修
3回目	1泊2日 実地研修
4回目	1泊2日 実地研修
5回目	1泊2日 実地研修
6回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
7回目	1泊2日 実地研修
8回目	1泊2日 実地研修
9回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
10回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
11回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
12回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
13回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
14回目	2泊3日 実地研修(ムラ暮らしインターン)
15回目	後期テスト(レポート)課題提出、回収
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行う
評価方法	レポート評価60% 授業態度40%
【使用教科書・教材・参考書】 「阿蘇遺産」「九州のムラ」「農ある暮らしススめ～中山間地域農業の複合経営魅力物語」他	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	日本・海外の文化	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	佐藤 俊子
	(Japanese and Foreign Culture)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1時限
【授業の学習内容】 インバウンドの旅行者を対象にどのように日本の文化を発信すればいいのかわかる。また海外からの旅行者を理解するために海外の文化を知り、日本との違いを理解する。 ※担当教員実務経験: 東急ホテルズインターナショナル(株)で販売促進部に所属、航空会社、旅行社、メディアとの仲介役を担当する。その後ヒルトン福岡シーホークなどの人事で社員の研修を担当する。また同時に通訳ガイドとしてインバウンド旅行者の通訳とガイド業務をこなしている。							
【到達目標】 ① インバウンドツーリストの現状と満足点と不満点を理解する。 ② 日本の文化を理解して、その特徴を知り、何をポイントにアピールすればいいのかわかる。 ③ 海外の文化(民族、宗教、食べ物の制約、考え方、言語)などを理解する ④ 観光地だけではなく、文化や体験を伝える方法を知る。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業の進め方、到達目標、今までに得た学習内容の確認
2回目	インバウンドの現状を知る。 コロナ前とコロナ後の特徴を知る。
3回目	日本の文化を知る その1 寺社
4回目	日本の文化を知る その2 自然遺産
5回目	日本の文化を知る その3 文化遺産
6回目	日本の文化を知る その4 無形文化財
7回目	日本の文化を知る その5 和食
8回目	海外の文化を知る その1 言語と宗教について知る
9回目	海外の文化を知る その2 民族別の特徴
8回目	海外の文化を知る その3 食べ物について知る(宗教、アレルギー、ベジタリアンなど)
11回目	海外の文化を知る フランスとイタリアの世界遺産を知る
12回目	海外の文化を知る アメリカの観光地を(ラスベガス、ハワイ)を知る
13回目	海外の文化を知る いやしの島バリを知る
14回目	まとめ
15回目	発表とまとめのチェックテスト
準備学習 時間外学習	授業で使うレジュメを元に授業後はもう一度よみなおしをお願いしたい。 また、時事の話題も大事なので、毎週今週のトピックは何かを聞くので、その準備をテレビやニュースサイトでまとめておくこと 福岡市内の話題が出たら、足を運んで自分の目で確かめておくこと。
評価方法	・課題を設けて、それに対して内容をまとめてもらい発表する:80% ・まとめのチェックテストで理解度を図る:20%
【使用教科書・教材・参考書】 授業のレジュメ、 新聞やテレビのニュース、るるぶなどの観光地案内(参考資料)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	植物	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	岩熊志保
	(Plants)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 4時限
【授業の学習内容】							
身近な「植物」に対しての基礎的な知識を身に付け、調査、同定を行い、標本作成の手法を学ぶ。							
※担当教員実務経験：一般社団法人まほろば自然代表理事。短期大学では植物保護学を専攻、植物と昆虫の関わりについて研究。他大学で植物を加害する昆虫類についての講座を持ち、現在も生物調査の業務にも携わる。							
【到達目標】							
植物に興味・関心を持ち、接することが出来る。 植物の種を同定する手法を学び、生態・生活史などの情報を得ることが出来る。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	植物の形態
2回目	植物の分類
3回目	植物の生態
4回目	「植物」の生活史①
5回目	「植物」の生活史②
6回目	「植物」の調査方法
7回目	植物調査①(校外演習)
8回目	植物調査②(校外演習)
9回目	植物調査③(校外演習)
10回目	植物調査④(校外演習)
11回目	「昆虫」と「植物」との関係
12回目	標本作成の意義、植物標本の作成方法(校外演習)
13回目	植物標本作成①(校外演習)
14回目	植物標本作成②(校外演習)
15回目	実物判定テストおよび振り返り
準備学習 時間外学習	・確認した種を記録に残す ・確認した種の生態、生活史などをその都度調べる
評価方法	・テスト(実物判定):40% ・作成物提出:40% ・授業参加状況および取り組み姿勢:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
参考図書：昆虫の図鑑増補改訂第2版 採集と標本の作り方(著者／編集：福田晴夫, 山下秋厚 出版社：南方新社)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	昆虫	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	岩熊志保
	(Insects)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 3時限
【授業の学習内容】							
身近な「昆虫」に対しての基礎的な知識を身に付け、調査、同定を行い、標本作成の手法を学ぶ。							
※担当教員実務経験：一般社団法人まほろば自然代表理事。大学では動物行動生態学を専攻、カメムシ目が専門。卒業後は生物調査会社に勤務し、昆虫調査および環境教育を担当。現在も生物調査の業務にも携わる。							
【到達目標】							
昆虫に興味・関心を持ち、接することが出来る。 昆虫の種を同定する手法を学び、生態・生活史などの情報を得ることが出来る。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	昆虫の形態
2回目	昆虫の分類
3回目	昆虫の生態
4回目	「昆虫」の生活史①
5回目	「昆虫」の生活史②
6回目	「昆虫」の調査方法
7回目	昆虫調査①(校外演習)
8回目	昆虫調査②(校外演習)
9回目	昆虫調査③(校外演習)
10回目	昆虫調査④(校外演習)
11回目	「昆虫」と「植物」との関係
12回目	標本作成の意義、昆虫標本の作成方法(校外演習)
13回目	昆虫標本作成①(校外演習)
14回目	昆虫標本作成②(校外演習)
15回目	実物判定テストおよび振り返り
準備学習 時間外学習	・確認した種を記録に残す ・確認した種の生態、生活史などをその都度調べる
評価方法	・テスト(実物判定):40% ・作成物提出:40% ・授業参加状況および取り組み姿勢:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
参考図書:昆虫の図鑑増補改訂第2版 採集と標本の作り方(著者／編集:福田晴夫, 山下秋厚 出版社: 南方新社)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	進級課題 (Level Advancement Study)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	赤岩 辰則/後藤 博美
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。							
【到達目標】							
学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。							

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは① ～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方 ～発表までの流れやスケジュールリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自(各班)で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容:80% ・課題への参加度:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修 (Business Internship)	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。 ※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。 ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。 ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。 ・自らの「キャリア」をデザインできる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出：80% ・インターンシップ先企業からの評価表：20% これらを総合的に判断して評価
【使用教科書・教材・参考書】 キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義&見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。 学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。 ※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。 ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。 ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。 ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート：100%
【使用教科書・教材・参考書】 キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	ILC国際語学センター
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	月曜日 5時限、木曜日 2時限
【授業の学習内容】							
リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。							
※担当教員:英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。							
【到達目標】							
日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容			
1回目	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as...as]を用いた比較の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞[can't, must not]を使った許可・禁止の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	中間試験	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	/u/. /ʊ/. /əʊ/の発音を学ぶ。他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think...]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	句動詞[work out, set up, など]の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	/ʃ/. /ð/の発音を学ぶ。了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	語末のedの発音を学ぶ。自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ [in the end" / "after all that"]の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	U10-12の振り返り	オンデマンド	振り返り
15回目	期末試験解説、レベルB+に向けて	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	・小テストの正解率にて評価 (後期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)		
【使用教科書・教材・参考書】			
EVOLVE3			

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海外留学 (Overseas Study)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	現地各施設実務従事者
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	450 (30)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	4月～9月
【授業の学習内容】 10週間オーストラリアに留学し、更なる専門知識や技術を習得すると共に、国際人としての語学力と感性を身に付けることを目的に実施します。 ※担当教員実務経験：海外における現地実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける。 ・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける。 ・世界における日本の立場を理解する。 ・自身のキャリアをデザインする。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、講義
3回目	訪問国での施設見学、講義
4回目	訪問国での施設見学、講義
5回目	訪問国での施設見学、講義
6回目	訪問国での施設見学、講義
7回目	訪問国での施設見学、講義
8回目	訪問国での施設見学、講義
9回目	訪問国での施設見学、講義
10回目	訪問国での施設見学、講義
11回目	訪問国での施設見学、講義
12回目	訪問国での施設見学、講義
13回目	訪問国での施設見学、講義
14回目	訪問国での施設見学、講義
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ
準備学習 時間外学習	・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート：100%
【使用教科書・教材・参考書】 過去の海外実学研修ノート	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	赤岩 辰則/後藤 博美
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。 企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。 ※担当教員:各イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・企画立案、運営ができるようになる。 ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。 ・接客を知り、実践できるようになる。 ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。 ・予算管理を実践し習得する。 ・スchedulingを理解し、実践できる。							

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備:50% ・レポート:(50%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去のイベント資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各クラブ顧問
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
学生会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。							
【到達目標】							
・チームワークを身に付ける。 ・計画性を身に付ける。 ・予算管理を身に付ける。 ・マネジメントを理解し身に付ける。							

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度:100%
【使用教科書・教材・参考書】	
・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。 ※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。 ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	・レポート：100%
【使用教科書・教材・参考書】 過去のボランティア活動報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	赤岩 辰則/後藤 博美
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。							
【到達目標】 ・各検定試験、資格試験の合格							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	・資格取得、検定合格:100%
【使用教科書・教材・参考書】 過去の各検定、資格教本	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。							
※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】							
1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。 2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。 3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる
準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめること。
評価方法	・日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う:100%
【使用教科書・教材・参考書】	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分 曜日・時限	後期 随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業				
【授業の学習内容】							
就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。 ※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】							
1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。 2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめること。
評価方法	・課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する:100%
【使用教科書・教材・参考書】	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Graduate Assignment for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。 プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。 実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。 ※担当教員実務経験：就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。 2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。 3. 採用されたイベント企画を実践することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	・イベントの企画・立案力：30% ・プレゼンテーション力：30% ・実践力：40% 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。
【使用教科書・教材・参考書】	